

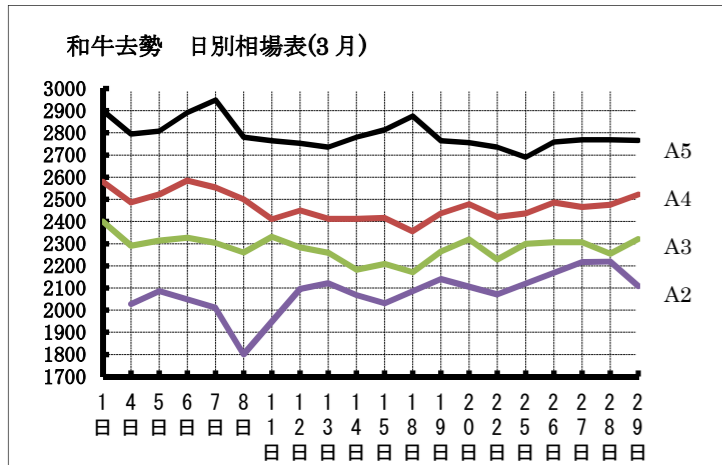
月刊しばうら

2019年4月号

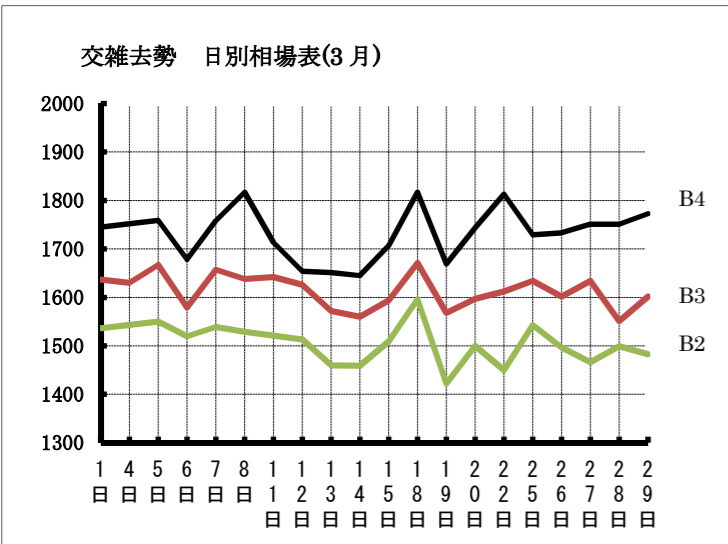
大動物事業部

<3月の相場動向>

和牛去勢 A5 が前月比 7 円安の 2,800 円（前年同月比 5 円高）、A4 が同 27 円安の 2,476 円（同 42 円高）、A3 が同 27 円安の 2,278 円（同 147 円高）、A2 が同 28 円安の 2,044 円（同 148 円高）となり、交雑牛去勢は B4 が 26 円安の 1,725 円（同 118 円高）、B3 が同 43 円安の 1,613 円（同 195 円高）、B2 が同 85 円安の 1,495 円（同 286 円高）となった。



A5	2,800 円	（前年同月比 100.2%）	（前月比 99.8%）
A4	2,476 円	（ " 101.7%）	（ " 98.9%）
A3	2,278 円	（ " 106.9%）	（ " 98.8%）
A2	2,044 円	（ " 107.8%）	（ " 98.6%）



B4	1,725 円	（前年同月比 107.3%）	（前月比 98.5%）
B3	1,613 円	（ " 113.8%）	（ " 97.4%）
B2	1,495 円	（ " 123.7%）	（ " 98.5%）

B3	上場なし		
B2	973 円	（前年同月比 97.2%）	（前月比 98.9%）

<4月の牛肉輸入量予測>

財務省が発表した輸入通関実績によると、2月の輸入量は前年比 7.8%増の 4 万 95 t で、うちチルドは 4.7%減の 1 万 8,991 t、フローズンは 22.3%増の 2 万 1,104 t となっている。フローズンは年度 SG 回避に向けて通関量を抑制していることで数量的には前月に比べ 1 万 t 近く減少している。これにより、第 4 四半期のトリガー残数量は 2 万 8,783 t となり、年度 SG は、ほぼ回避される見込みとなった。

農畜産業振興機構の予測による 4 月の牛肉輸入数量は、前年比 8.6%減の 5 万 7,000t と予測。チルドは、0.7%減の 2 万 5,000t、フローズンは、14.0%減の 3 万 1,800 t と前年同月を大きく下回ると予測している。また、新年度の 4 月からは TPP11 の牛肉関税が下がる。チルド・フローズンともに 26.6%となり、日豪 EPA については TPP11 の税率が低くなるため TPP11 の税率が優先される。日欧 EPA についても下がり、26.7%となる。

		2月	前年同月	前年同月比
チルド	豪州	9,083	8,753	103.8%
	米国	8,783	10,331	85.0%
	その他	1,125	848	132.7%
	合計	18,991	19,932	95.1%
フローズン	豪州	7,753	11,341	68.4%
	米国	8,681	4,646	186.8%
	その他	1,421	1,266	112.2%
	合計	21,104	17,253	122.3%

単位：t 出典：食肉速報

<4月の全国出荷頭数予測>

農畜産業振興機構による 4 月の出荷予測頭数は、全体で前年比 1.0%減の 8 万 9,500 頭と予測。品種別にみると和牛は 0.4%減の 3 万 9,700 頭、交雑種は 3.0%減の 2 万 1,100 頭、乳用種は 0.4%減の 2 万 7,500 頭とすべてで前年同月より減少と予測している。東京食肉市場の 4 月のと畜頭数は 7,900 頭を予定しています。

<4月の牛枝肉相場見通し>

今年のGWは長期大型連休でその手当買いや行楽需要により活発な取引が見込まれる。和牛は 3・4 等級を中心に上げ基調な相場が予測される。交雑牛は出荷頭数不足などで高騰するであろうと予測されているが現状高値で推移しており大幅な上昇は考えづらく強もちあいの相場展開か。

和牛去勢	価格予測	交雑去勢	価格予測
A5	2,750~2,850	B4	1,700~1,750
A4	2,500~2,600	B3	1,600~1,650
A3	2,300~2,400	B2	1,500~1,550
A2	2,100~2,200		
乳牛去勢			
B3	1,100~1,150		
B2	950~1,050		

小動物事業部

2 月の全国と畜頭数は、前年同月比 1%増の 131 万 2,663 頭と前年より増加した。また、2 月の豚肉通関数量は、チルドが 2 万 9,859 t（前年同月比 1.2%減）と微減となったが、フローズンは 5 万 1,833 t（同比 37.4%増）と大幅な増加となった。日欧 EPA 発効を控えて、1 月から繰り延べされた未通関在庫が 2 月の通関となったこともあって輸入量は大幅増となった。

月	供給量		推定期末在庫		推定出回り量	
	生産量	輸入量	国産物	輸入物	国産物	輸入物
1	77,568	74,247	16,549	160,209	77,928	67,918
2	71,805	67,889	17,111	164,705	71,194	63,393
3	78,201	77,785	20,474	160,500	74,791	81,990
4	75,496	80,144	18,753	159,213	77,128	81,431
5	76,152	80,227	19,021	161,265	75,842	78,175
6	69,573	76,677	17,434	161,087	71,104	76,855
7	68,709	78,084	17,332	158,705	68,762	80,466
8	70,135	79,654	18,182	157,848	69,223	80,511
9	67,675	68,972	18,048	149,511	67,772	77,309
10	82,053	83,979	18,178	147,729	81,863	85,761
11	82,254	83,346	18,435	144,982	81,925	86,093
12	79,338	73,146	19,394	140,967	78,307	77,161
1	79,477	61,703	19,643	144,246	79,203	58,424
比	103%	83%	119%	90%	102%	86%

比：最終月の前年同期比 出典：農畜産業振興機構 単位：トン、%

		単位：トン、%			
国名	冷蔵	前年比	国名	冷凍	前年比
アメリカ	14,599	82.7	デンマーク	12,796	168.4
カナダ	14,403	122.7	スペイン	11,400	143.8
メキシコ	854	102.0	メキシコ	6,939	121.2
その他	3	100.0	アメリカ	3,944	100.3
			カナダ	2,434	102.2
			その他	14,320	141.4
合計	29,859	98.8		51,833	137.3

<3月の豚取引の推移>

上旬	全国と畜頭数	上物価格	中物価格	上場頭数
1日	63,900	487	448	935
4日	64,200	467	438	726
5日	66,200	479	453	924
6日	66,200	504	461	633
7日	65,900	511	459	819
8日	66,600	482	446	899
平均	65,500/日			821/日

今月に入りバラの荷動きは鈍くなりウデ、モモなどのスソ物の引き合いも徐々に弱まってきている。一方、気温の上昇で行楽需要に向けて期待されるロースやカタロースについてもまだ動きはみられなかった。

中旬	全国と畜頭数	上物価格	中物価格	上場頭数
11日	63,800	492	441	668
12日	66,200	502	444	965
13日	65,400	492	443	643
14日	66,400	439	419	777
15日	65,600	455	425	922
18日	69,100	435	408	678
19日	70,700	474	430	963
平均	66,742/日			802/日

豚コレラの影響などで一部では、中部地方などからの引き合いもみられるものの、全体的に末端消費は弱く、荷動きは鈍い状況が続いている

下旬	全国と畜頭数	上物価格	中物価格	上場頭数
20日	74,300	467	437	838
22日	71,100	487	484	928
25日	66,500	460	445	714
26日	67,100	487	457	963
27日	66,800	484	454	821
28日	66,900	485	444	913
29日	62,200	465	426	943
平均	67,842/日			872/日

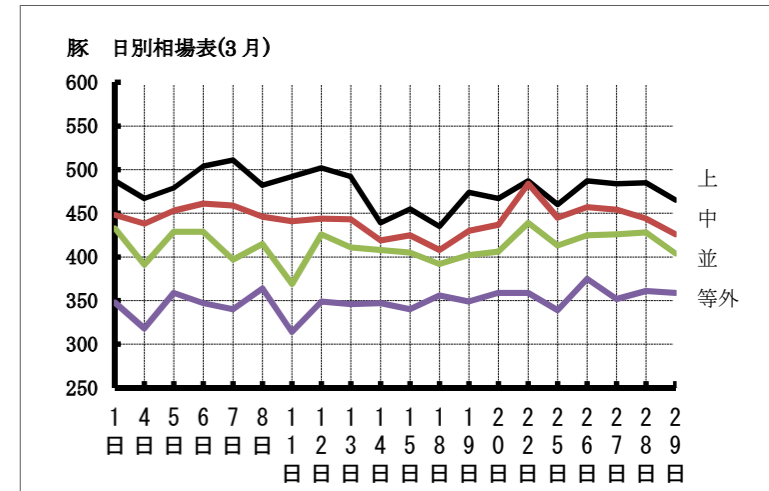
出荷頭数は多くはないが品薄感はなく需要は鈍い状況となった。特に春休みにより学校給食が中断し、スソ物の荷動きは鈍くなった。一方、行楽需要に向けスペアリブの引き合いは強くなってきた。

<4月の豚枝肉相場見通し>

農林水産省による 4 月の全国と畜頭数予測では、前年をわずかに下回る 135 万 9,000 頭（前年同月並み）と予測している。当市場の 4 月の集荷予定頭数は 1 万 7,500 頭、1 日あたりでは約 833 頭を見込んでいる。

農畜産業振興機構によると 4 月分の豚肉輸入見込数量は、総量で 8 万 1,300 トン（同 101.4%）、内訳はチルドが 3 万 4,800 トン（同 103%）、フローズンは 4 万 6,500 トン（同 100.3%）と前年同月をやや上回る予測。

4 月は花見などの行楽需要が高まり今年は最大 10 連休に向け例年以上の需要増加に期待がかかる。また、2 週目から学校給食の再開によりスソ物も徐々に動き始め、相場はジリ高の推移となるとが予想される。このことから当市場の 4 月加重平均は上物価格で 500 円前後、中物価格は 480 円前後と予測する。



出荷者の皆様へ

PEDをはじめとする様々な病気を予防するため、防疫体制を強化しております。生体車の消毒など、衛生担保のため、引き続き皆様のご協力をよろしくお願いたします。